

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	ご家族様との円滑な関係が構築されている一方、一部情報の伝達の中での行き違い等が起きている様である。ホームでの取り組みをしっかりとご家族様にも伝え、ご理解いただくため、ご家族様とより一層コミュニケーションを図っていくことが課題である。	職員とご家族様との対話の機会を増やし、双方間の密なコミュニケーションを図り、その中で支援の報告性を決定していき、ご家族様の意見を大いに施設運営に反映していきたい。	①ご家族様へ運営推進会議への参加を促し、会議をより活発なものにしていく。②ケアプランの立案にあたっては、ご家族様へのヒアリングを積極的に行い、ケアの方向性を共に考える。③家族会のようなものを立ち上げ家族間が交流できる場を作る。	6ヶ月
2	15	今後看取り介護を積極的に行っていく為の職員のスキルアップやより具体的でかつ実践可能な看取り介護の指針・方針を職員間で共有し、またご家族様とも常に考えていくことが課題である。	職員の”看取り=怖い”というイメージを払拭し、GH内での看取りを可能なものにしていきたい。また往診医・往診看護師とのより一層の協力体制を構築していきたい。	①看取り=怖いという職員のイメージを払拭する為終末期に関する研修を多く取り入れていきたい②職員それぞれの死生観について話せる機会を設ける③御家族様との密な意見交換の実施④往診医との協力体制の構築。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。